

「落水～ RAKUSUI」へのこだわり。



～落水紙について～

落水紙は日本三大和紙に数えられる高知県土佐和紙の伝統技法を用いて作られる特別な和紙です、薄紙を漉くときに水を表面に落として柄を描きだす和紙で、レースのように穴の開いた表情が特徴です。また、その柄には日本古来の文様や創作柄を用いることで独自のデザイン性を持ち発展してきました。この落水紙は非常にゆっくりとした速度で抄かなければ描きだすことができません。この技術は職人の経験と感覚に支えられ、風合いや触覚など、唯一無二の表情をもつアート作品のような仕上りになります。

～プレス成型への挑戦～

落水紙は薄紙である為、先ず厚紙と合紙（紙を貼り合わせる）加工から始まります。まさに材料作りからのスタートとなり、次工程では食品容器に対応する為、表面に食品対応のフィルムを貼合。表面素材は落水紙の持つ風合いを活かす為、マット PP 素材を選択しました。その後、熱成型プレスで1枚1枚ゆっくりと形状化することにより、落水紙の魅力を邪魔することなく、素材本来の素晴らしさをそのまま製品化する事ができました。各社の努力とこだわりによって仕上がった製品です。



～七宝（しっぽう）柄について～

数ある日本の伝統的な文様の中より「七宝」を選択しました。同じ大きさの円を四方八方に連続して重ねてできた幾何学模様であり、円が交差する部分が花のように見えることから、美しく調和のとれた印象を与える文様です。「七宝」とは、金・銀・瑠璃・玻璃・珊瑚・瑪瑙・真珠の7つの宝を指し、これらの宝のように「円満」「調和」「ご縁」などを象徴する柄として尊ばれてきました。円形が連続することから、「人と人とのご縁が無限に続く」という意味も込められ、模様自体が絶え間なく続いていくことから、「繁栄」や「平和」の願いも込められています。これらは「非常に貴重なもの」とされ、「人との縁」や「美しいつながり」も同様に宝物である、という思想が文様に投影されています。



◆ 七宝柄の象徴する意味

- 円満 : 円が連なっていることから、人間関係が丸く収まる。
- 縁 : 円が連なって続くことで、良縁・ご縁が途切れず続く。
- 調和と平和 : どの円も対等に美しく調和しており、争いのない理想的な世界観。
- 繁栄と発展 : 模様がどこまでも広がることで、家業や人生が繁栄し続けるという願い。



ものづくりアワード 2024 奨励賞受賞

東京 TASK はものづくり企業が数多くある台東区・荒川区・葛飾区の3区行政合同による産業振興施策です。この3区には、多くの小規模な町工場が集積しており、様々な素材を加工し、工業用部品から生活用品に至るまで多種多様な製品を製造しています。3区のスケールメリットを活かし、この地域で培われた熟練技術や高度な技能を有する企業と行政、支援機関、教育機関が連携し、産業の活性化を目指しています。



落水紙皿
(豆皿6種x10枚セット)
NET ショップ
限定商品



落水 ～ RAKUSUI ～

土佐和紙 × 紙皿

伝統工芸品

ぐらすはっと

「落水紙ならではの触覚」

宿泊施設の客室、会議場、ワイナリーやブルワリーの試飲など、様々なシーンでご利用される「ぐらすはっと」が落水紙の上品な質感で仕上がりました。繊細な和紙の風合いが飲み物の風味を損なうことなく優しく演出をします。日本伝統工芸である土佐和紙「落水」が持つ透け感と手で触れた際の触覚が思い出として利用者に深く記憶されます。四方へ永遠に続く「七宝柄」は未永くご縁が続く縁起と高級感を特徴とします。

落水紙の持つ「特別な触覚」を伝えたい。

高級なグラスカバーというだけではなく、人間の持つ五感「視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚」の中で、ご利用される方の記憶に残る「触覚」を伝えたいと考えました。触れる事により、その場所での風景や雰囲気、味などの思い出が強く残り、ブランド創出や、また再訪したいと考えるきっかけに繋がるタッチポイントになります。

特徴

- 1タイプで2サイズのグラスに適合するよう設計されており、従来品に比べ保管スペースを有効に使えます。

ex.

口徑60.0mmφ
口徑63.5mmφ

品名	材質	製品サイズ(約) (グラス適合サイズ)	色	ケース入数
落水ぐらすはっと B型	土佐和紙(落水)+紙	60.0 mmφ・63.5 mmφ x 14mmh	 しろ	100 枚 (PE) x 25 袋 2,500 枚入
落水ぐらすはっと C型	土佐和紙(落水)+紙	65.0 mmφ・72.0 mmφ x 17mmh		
落水ぐらすはっと D型	土佐和紙(落水)+紙	75.0 mmφ・78.0 mmφ x 14mmh		

SS90

「小さく、美しく、魅せる器」

コンパクトでありながらスタイリッシュ性を備えた 90mm 角の紙皿。落水紙の持つ繊細なテクスチャーと、どれも美しい6色のカラーバリエーションで上質な紙皿に仕上がりました。和菓子・洋菓子をはじめ、料理小皿として食を楽しむ空間を鮮やかに彩ります。

「日本の味」を「日本の文化」で提供したい。

世界でも認められる「和の味」。さまざまな食べ物は数百年続く老舗の味から、イノベーションによって作られた新しい味まで、日本の味は、外観、品質はもとより、作り手の気遣いや想いなど、細部にまでこだわりを持って作られています。そのこだわりの結晶に日本文化である和紙の持つ上質な雰囲気をくわえる事で、味わいにさらなる深みをもたらし、味と文化を感じる事ができます。

しろ

あけぼの

うすこう

わかなえ

うすはな

ぎんねず

品名	材質	製品サイズ(約)	色	ケース入数
落水紙皿 SS90	土佐和紙(落水)+紙 表面マット PP フィルム	91 mm x 91 mm x 7mmh	6 色	100 枚 (PE) x 18 袋 1,800 枚入

選べるカラー：1 ケース入数合計 / 1,800 枚の内訳をご希望カラーでアソートが可能です。(1 カラー：100 枚単位)

角 18 cm

「主役を引き立てる、和紙の舞台」

18 cm 角の大きなサイズが特徴であり、落水紙ならではの繊細な風合いと、余白を持って主役を彩る「わびさび」をイメージした形状に仕上げました。6 色の美しいカラーバリエーションにより、おもてなしの席や特別な食事にふさわしい、和の印象を全面に表した洗練されたデザイン。日本伝統工芸の技術により、紙皿のイメージを超えた格調高い逸品です。

日本が誇る「伝統工芸」を身近に感じて欲しい。

受け継がれた技と美意識から生まれる日本の伝統工芸品。それは“特別なもの”だけではなく、日常の中に溶け込む美でもあります。手に取ったとき、ふとした瞬間に、その魅力を感じていただけたら嬉しいです。そしてそんな伝統工芸の魅力をもっと身近に感じてほしいと願っています。日常にそっと溶け込むような使い方の中で、その繊細な素材のぬくもりが心を和らげ「伝統」という言葉にとらわれず、もっと自由に、もっと気軽に、今の暮らしに合うかたちで工芸品との新しい出会いを楽しんでいただきたいと思います。

しろ

あけぼの

うすこう

わかなえ

うすはな

ぎんねず

品名	材質	製品サイズ(約)	色	ケース入数
落水紙皿 角 18 cm	土佐和紙(落水)+紙 表面マット PP フィルム	183 mm x 183 mm x 14mmh	6 色	100 枚 (PE) x 6 袋 600 枚入

選べるカラー：1 ケース入数合計 / 600 枚の内訳をご希望カラーでアソートが可能です。(1 カラー：100 枚単位)